

睦会だより

社会福祉法人 睦会 広報

2016
7
No.27



「SL 銀河」に乗車！

石上の園の利用者さんが週末を利用し、2014年4月より定期運行されている「SL 銀河」に乗車して宮沢賢治の世界を満喫してきました！その他にも買い物外出やマラソン大会等の地域のイベントに参加するなど、余暇を楽しんでいます。



主な内容

◆県社協障がい者福祉協議会会長に就任

役員紹介・・・2P

◆利用者就職・石上の園創立 20 周年記念行事紹介・・・3P

◆フォトグラフ・・・・・・・・・・・・・・4P/5P

◆平成 27 年度事業報告・決算報告・・・・・・・・・・6P/7P

◆職員紹介・ご奉仕くださった方々・・・・・・・・・・8P

『障がい者福祉協議会としての福祉施策への取り組みおよび今後の課題』



遠野コロニー所長
松田 賢雄

去る四月十八日の幹事会にて、会長職を仰せつかり過日就任いたしました。これまで、県南ブロック選出幹事として、会の運営に携わらせていただいておりますが、このたびは会長職ということで、その重責に身の引き締まる思いをしております。ご覧の通り、甚だ微力で若輩者ではございますが、職を受けたからには、皆様のご期待にお応えすべく、全身全霊でその責務を果たす所存でございますので、なお一層のご支援、ご鞭撻をお願いいたします。

障がい者福祉協議会は、その事務局は岩手県社会福祉協議会内にあり、組織編成は、障がい者生活支援部会、社会就労部会、障がい児支援部会の三部会と、研修委員会、調査研究委員会の二委員会から成り、現在、岩手県内一九〇余施設が加入しております。当会は県内福祉施設の障がい福祉サービス事業の円滑な運営と障がい者福祉の増進を図ることを目的にその活動を行っております。今年度は第三次中期ビジョン（平成二十七年（平成二十九年）の基本方針である「要望・提言の機能強化」、障がいを持つ方が働くことや地域で暮らすことへの支援」、「会員事業所職員の資質向上支援」、「会員事業所の交流と連携の支援」

の具現化を図るため、それぞれの事業計画に沿って各種活動に取り組んでまいります。

特に今年度は、障がい福祉の現場においては、大きな変革の年であります。社会福祉法人改革を柱とした改正社会福祉法の成立や障がい者の高齢化・重度化に対応することを柱とした障害者総合支援法施行三年後の見直しがなされました。しかしながら、双法において不明瞭な点や今後幅広い視点からの議論が必要な課題が山積しております。それらに関しまして、社会福祉法においては本格施行の平成二十九年四月一日までに、また、改正総合支援法にあつては、その施行の平成三十年四月一日までの間に検討・議論を重ね明確にしていこうとされております。この期を捉え、我々、障がい福祉に携わる者として、今こそ現場の声を上げていかなければなりません。声を上げないことは、従うことであり、受容することに他なりません。そのためには、一事業者としての声では届かないのが現状であります。それゆえ、当会において県内の福祉関係者・当事者等の声を集約し広く県や国に対して声を上げていくことが肝要であると考えております。そのためには広く県内の施設に加入していただき当会の声を一層大きなものにしていきたいものと考えております。現行は、正論であるかどうかということよりも広く多くのか

佐々木秀夫さん

就職おめでとう!!

遠野コロニーを通所利用しておりました佐々木秀夫さんが、今年三月十四日岩手アパレル株式会社に就職しました。秀夫さんは、平成八年七月、石上の園開所と同時に入所されて以来、遠野コロニー利用に至るまでの間、クリーニング作業に取り組んできました。その間「資格を取りたい」という強い気持ちが芽生え、努力を重ねた結果、平成十一年、見事にクリーニング師試験に合格。この快挙は当時の新聞にも大きく掲載されました。

その後もアイロンを使った衣類仕上げの技術を更に高めるべく、市内外のクリーニング事業所において実習を重ねてきました。その経験の中で、秀夫さん自身、資格や技術を生かすことができる仕事に就き、自立した生活を送りたいという気持ちを強くしていました。

この度、岩手アパレル株式会社に就職が決まり、その思いが叶うことになりました。就職して約四ヶ月が経ちますが、現在プレス機やアイロンを操作してスラックスのパンツを仕上げる工程を担当しています。

秀夫さんには今まで培った経験を基に、会社の一員としての役割と責任を果たすよう心がけ、そのための努力を惜しまず仕事に取り組んでほしいと願っています。



「いろんな仕事にチャレンジして
いきたい」

私は、平成二十八年三月十一日をもって遠野コロニーを退所し、三月十四日より岩手アパレル株式会社に採用され働かせていただいています。採用前には六日間の職場実習をさせてもらいました。毎日忙しく大変でしたが、会社の皆さんに親切にしてくださいました。就職してから毎日勉強であり、未だに慣れていませんが、一生懸命仕事に取り組んでいます。

就職して思うのは、今までの施設の仕事とは違うということです。失敗したとき、コロニーでは、職員が責任を取ってくれますが、会社では流れ作業のため周りの人や上司等に迷惑をかけ、また責任は自分が負わなければなりません。その違いに、自分自身弱気になりましたが、相談支援事業所の相談員やコロニーの職員に話をしアドバイスをもらいながら、なんとか頑張っております。

これからいろんな仕事にチャレンジしていきたいです。まだまだご迷惑をかけると思いますが、よろしく願います。

「職場に迎え入れて」



岩手アパレル株式会社
代表取締役 萩野 幸弘

秀夫君ご入社おめでとうございます。

皆様に支持された大きな団体でなければその声は届かないという残念な現実があります。そのために県内福祉関係者の力の集約が急務であります。

また、改正総合支援法はというと、その施行は報酬単価改定年度と同じ平成三十年度であります。これに関しても同様に声を集約し上げていかなければなりません。障がい者の高齢化・重度化をその柱とする改正総合支援法では、六十五歳以上は介護保険優先が堅持され、地域移行の最たる場であるグループホームにてその支援をするというのは、今後、具体的支援内容等を吟味する必要がある等、種々の詳細事項に関しても現場の声を反映させていかなければなりません。今後、福祉関係団体等と厚生労働省で協議することとなるであろうことから、「内容の根拠」を明確にし、制度の改正が真の意味での障がいを持った人たちの暮らしが良くなるための方策とならんことを願い活動を進めていく所存であります。

今年四月に障害者差別解消法が施行になり、その主目的の考え方は、障がい者であることでの不当な差別を禁止し、合理的配慮をすることで障がいのある人もそうでない人も共生する社会の実現をうたっているにもかかわらず、その当事者たる障害者総合支援法改正案をめぐる衆議院厚生労働委員会の参考人質疑の場で難病患者（ALS）であることを理由に、そのやりとり時間に時間がかかるなどのことから拒否したということがありました。法を審議、決定する機関でこのようなことが平然と行われることに強い憤りを感じるものであります。だか

秀夫君が初めて弊社に訪れたのは今年一月末のことでした。睦会職員の方と共に見学に訪れたのですが、私から見た秀夫君は「気さくで自分の思いをしつかりと表現できる明るい青年」といった印象で、是非一緒に働けたらと思っていました。見学から入社に至るまでの約一ヶ月間、色々考えたり悩んだりしたかもしれませんが、最終的に入社を判断してくれたことに、心からの感謝と歓迎の意を表します。

弊社は紳士・婦人スラックスを製造しており、生地等の原材料を製品加工して売り場に陳列できる状態にまで仕上げて出荷しています。その中で秀夫君は、出来上がったスラックスのアイロン仕上げをする部署で勤務していますが、過去にシャツアイロン仕上げの経験があったとはいえ、スラックスの仕上げは初めてだったと思いますので、最初は慣れない作業の連続で、とても大変だったのではないかと推察します。しかし、これまで一度も欠勤することなく、毎日一生懸命仕事に向き合い努力を重ねた結果、今では一つの作業に留まらず複数の作業をこなせるようになるなど、着実に仕事を覚え成長してきました。最近仕事にもすっかり慣れ、一人立ちできつつあるように見受けられとても安堵していますが、言い換えればこの時期が一番危ない頃でもあるということです。その意味から今後の目標としては、引き続き怪我や欠

からこそ、障がい者支援をひとこととするのではなく、障がい者の立場、同じ目線に立って意見を述べていかなければならないと切に感じるものであります。

今後、関係各位、一般市民の皆様方からのご理解、ご支援を賜りながら、障がいがある人もそうでない人も共に安心して地域で共生できる社会の実現に向け、障がい者福祉協議会として、また、社会福祉法人睦会として鋭意努力していきたいと考えておりますので、今後とも、よろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人 睦会 役員紹介

【理事】	【評議員】		
	新里佳子 (理事長)	海老義子 熊谷池田 菊多松馬 遠佐藤吉 佐小原敏勝 (石上の園長)	雄子昌幸夫江 秋和芳誠武 山蔭浦田池橋 下山三多菊高
【監事】	佐々木 岩 佐々木 耕 毅	(任期) 理事・監事 平成 28 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日 評 議 員 平成 28 年 3 月 1 日～平成 30 年 2 月 28 日	

石上の園創立二十周年記念行事

障害者支援施設石上の園が七月で開所から二十年を迎えました。これを記念し、次の行事開催を予定しております。

- ・ 八月五日（金）
盆おどり会
於 石上の園
- ・ 九月二十四日（土）
いしがみ祭（全施設合同の文化祭）
及び記念式典・祝賀会
於 綾織地区センター

地域の皆さまにも一緒に楽しんでいただきたく、盛りだくさんの内容で準備を進めております。ぜひ足をお運びください。

・ 七月・十月・十一月
大阪二泊旅行

石上の園利用者が三班に分かれて
記念旅行に行ってきます。

にっこ運動会 (6月11日)



フォトクラフ



最高の青空の下、石上の園において例年どおり運動会が行なわれました。全施設・事業所の利用者さんが大集合し、体を動かしながら家族や地域の皆さまとの交流を楽しみました。



☆今年のお弁当☆

御食事処『結和』で作りました。



競技の様子



綾織小学校の皆さん

今年も地域の子どもたちにダンスを披露していただきました。その元気&かわいらしい姿に会場中が笑顔に包まれました。ありがとうございました。

ダンス



綾織保育園の皆さん

その他の行事



附馬牛小学校との交流会

(6月21日/遠野コロニー)



節分豆まき

(2月3日/全施設)



バイキング食

(6月24日/遠野コロニー・石上の園)



ジンギスカン

(5月20日/遠野コロニー・石上の園)



県障がい者スポーツ大会

(6月4日/於：北上総合運動公園他)

今年は北上総合運動公園を主会場とし行われました。総勢20名、他施設の皆さんとも交流しながら、精一杯競技してまいりました。



遠野コロニー・自治会活動紹介

各施設で利用者を主体とした自治会活動に取り組んでいます。遠野コロニーの「あゆみ会」でも、時季に合わせた宴会や楽しみ会など様々なイベントを企画し、行いました。

ゲーム大会

(2月24日)



年2回開催しています。

お花見会&歓迎会

(5月13日)



ごちそうをズラリと並べ、新しく入った利用者さん・職員、2名の歓迎会をにぎやかにしました。

【障害福祉サービス事業所 ほほえみ】

新グループホームくるみの4月スタートに伴い、グループホーム利用者の再編成が行われましたが、大きなトラブル等なく一年を過ごすことができました。定期的に開催している世話人連絡会議での情報交換や、休日訪問日（月1回）に利用者の部屋を訪問し一緒に掃除を行うなど、きめ細かい支援、快適な居住環境づくり等に努めてきました。現在2箇所のグループホームが定員を満たしていない状況ですが、体験利用の受入れを行うなど本利用に結び付くよう取り組んでいます。

【相談支援事業所 らいと】

支給要否決定におけるサービス等利用計画案の作成について様々な懸念や指摘がありましたが、当事業所においては、平成26年度末に対象者全員の計画案等作成をすでに終えており、対象者が適切な支援等を受けられないといった不利益が生じないように努めました。また、更新が特定時期に集中し計画案作成の煩雑化を極めていたことから、各市町村への働きかけを行いながら誕生日を基準として更新とするように求め、その対象者数の平均化を推進してまいりました。その結果、遠野市内外の300余名の本計画、モニタリングを滞りなく終了することができました。また、全県的に相談支援事業における課題とされている指定特定相談事業と指定一般相談事業の明確化について取り組み、包括的相談支援事業の必要性を認識しながら、身体・知的・精神・発達障がい児（者）等が、安心して障がい福祉サービスを利用できるように情報提供、各種支援策に関する助言・指導、権利擁護のための援助、専門機関の紹介、関係機関等との情報交換、連絡調整等の適切な支援を行いました。（延べ相談件数 1,717件）

平成27年度 決算報告

法人全体の年度末の純資産は11億3,989万円となり、前年度末と比較して669万円減少しました。事業活動収支計算書の当期活動増減差額は264万円の黒字となりましたが、前年度対比で1,533万円減少しました。総体的には良好な経営内容でした。

【財産目録】

（単位：千円）

資産の部	1,226,469	負債の部	86,574
流動資産	422,276	流動負債	26,207
現金預金	336,413	事業未払金	14,305
事業未収金	75,091	その他	11,902
その他	10,772		
固定資産	804,193	固定負債	60,367
基本財産	650,598	設備資金借入金	20,000
その他の固定資産	153,595	退職給付引当金	40,367
差引純資産		1,139,895	

【事業活動計算書】

○収益の部

サービス活動収益	550,464
就労支援事業収益	139,755
障害福祉サービス等事業収益	410,709
自立支援給付費収益	347,425
利用者負担金収益	38,523
補足給付費収益	10,926
その他の事業収益	13,835
サービス活動外収益	3,466
特別収益	13,760
合計	567,690

○費用の部

（単位：千円）

サービス活動費用	545,323
人件費	283,945
事業費	71,075
事務費	48,483
就労支援事業費用	120,258
減価償却費	34,953
国庫補助金等特別積立金取崩額	△13,391
サービス活動外費用	3,167
特別費用	16,560
合計	565,050

平成27年度 事業報告

「社会福祉法等の一部を改正する法律」が成立し、社会福祉法人には公益性・非営利性を徹底する観点から、ガバナンスの強化、地域における公益的な取り組みを実施する責務、財務規律の整理等といった公益法人としての組織・事業の再構築が求められてきています。また、平成25年4月に施行された障害者総合支援法の附則では、施行後3年を目処としサービスのあり方等に検討を加え、所要の措置を講ずるとされていましたが、常時介護を要する障がい者等に対する支援、障がい者の就労支援、障害支援区分の認定を含めた支給決定のあり方等においてその概要が明らかとなっており、今後の動向に注視していかなければなりません。こうした状況下にあって、当会では、経営者協議会や障がい者福祉協議会等と連携を密にしながら情報を共有し、事務局会議等の定例会議の開催を通じて共通認識を持った事業運営に努めてまいりました。

【障害者支援施設 遠野コロニー】

昨年度同様に、利用者の重度化・高齢化の進行に伴い、いわゆる「生活介護」を必要とする利用者が増加しています。それに対応すべくニーズや想いを尊重した個別支援計画を策定しそれに沿ってサービスの質の確保や向上を図りながら、利用者の生活及び作業支援に当たりました。また、昨年度の石上の園の受審に続き、福祉サービス第三者評価を受審しサービスの質の向上を図るとともに、支援の対象を拡大する観点から岩手県地域生活支援センターによる「地域生活定着促進研修」を受け、触法障がい者の支援にも積極的に取り組みました。生産活動においては、主軸である印刷事業を中心に新規受注拡大、受注量の安定確保に努め、昨年度実績は下回ったもののある程度の収益を上げることができました。作業支援では、本人の希望に配慮しながら、個々の作業・身体能力等に応じた配置や適正な作業の提供に努めました。また、障がい児の放課後支援としての日中一時支援事業においては、利用児童の特性を細かに把握し十分なサービス提供ができるよう心がけ、また、保護者との連携を図りながら支援の充実に努めました。

【障害者支援施設 石上の園】

三障がいを一体的に支援する現体系にあって、精神疾患のある利用者や自閉症などの行動障害のある利用者が増えたことにより、対応支援方法の確立が急務であり、利用者個人の障がい特性や性格等をよく理解した上で支援しなければならませんでした。これには法人基本理念に基づき、利用者一人ひとりにしっかりと目を向けて思いを汲み取ることを支援の根本的な概念として、職員全体で取り組んでまいりました。また、今年度は地域のマラソン大会等に参加する場を多く設けるなど、地域の方たちと利用者が直接触れ合える場の創出に努めてまいりました。生産活動においては、主体となる農産部門で前年度に引き続き椎茸の売り上げが好調で高い利益を上げることができ、全体として工賃の向上に結び付けることができました。

【障害福祉サービス事業所 多賀の里】

現在、多賀の里では10代から70代まで幅広い年齢層の利用者が通所しており、中でも精神障がい者を有している方が多いことから、情緒の安定を図るための声かけや体調管理、相談・助言等の支援に心がけました。生産活動においては、主軸である配食事業と製品加工事業を中心に取り組んでまいりました。宅配弁当については前年度以上の実績を得ることができましたが、製品加工事業においては受託量減少の影響を受け前年度を下回る実績となりました。また結和においては食堂業務に加え催事における弁当注文にも随時対応しましたが、食堂・産直コーナーともに高規格道路開通等の影響による客足の減少が著しく、今後の検討課題となっています。



納涼祭



リフレッシュ演出



宮古市サーモンマラソン参加



お寿司の日



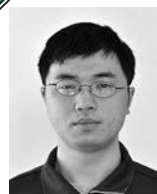
遠野コロニー 生活支援員
三浦京子
みうら・きょうこ

生年月日 昭和 57 年 4 月 28 日
出身地 遠野市宮守町
趣味 多種多様
特技 眠っていること

【一言】

平成 28 年 1 月より遠野コロニーの職員としてお仕事をさせて頂いております。

福祉施設で仕事をしたいという思いがあり、ようやく願いが叶いました。職員の方々、利用者の方々も、初心者の方に親切に指導してくださりととても良い職場の仲間に入れてもらえたこと、嬉しく思っています。たくさんの方の事を学びながら、利用者の皆さんの生活のお手伝いを、精一杯頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



石上の園 作業指導員
水上 薫
みずかみ・かおる

生年月日 平成 7 年 9 月 17 日
出身地 千葉県印西市
趣味 読書・映画鑑賞・怪談話を聞くこと
特技 剣道

【一言】

4 月より石上の園に異動になりました水上です。睦会に入って気が付いたら 1 年経っていました。光陰矢の如しですね。学生の時と違って時間がすごいスピードで流れてゆきます。遠野との出会いは、中学 2 年生の時です。柳田國男の「遠野物語」を読んでハマりました。地元は千葉県は日本一平らな県です。山が全くありませんし、昔話も皆無です。そんな訳でそれ等がてんこ盛りな遠野に憧れるのは必然だったと思います。また、並んで怖い話も大好物なので、もし体験談があったらお聞かせ下さい。

ありがとうございました

ご奉仕くださった方々
(平成 27 年 11 月～平成 28 年 6 月)

- 太田友美様
余暇活動奉仕
(エアロバイク等指導)
- 小松省治・信子夫妻様
作業奉仕(資源再生事業)
- 遠野商工会女性部様
タオル・ティッシュ寄贈
- マックスバリュ東北様
行事飲み物等寄贈
- 松屋菓子店様
クリスマスケーキ寄贈
- 岩手県東部郵便局長会様
タオル寄贈
- 富士ゼロックス岩手様
車椅子・日用品寄贈
- 宮古ヤクルト販売様
車椅子寄贈
- 遠野物語ファンタジー事務局様
観劇招待
- 高砂子酒店様
野菜寄贈
- カイジヨー様
ジュース寄贈
- 及川鈴子様
ジュース寄贈
- 菊池 聡様
野菜寄贈
- 佐藤洋子様
果物寄贈
- 小森孝夫様
ジュース寄贈

- 柴田康浩様
果物寄贈
- 河合正子様
果物寄贈
- 阿部キミ様
野菜寄贈
- 遠野第 13 区自治会様
菖蒲寄贈
- ここに運動会奉仕
☆アトラクション協力
綾織保育園の皆様
綾織小学校の皆様
☆ボランティア
藤原和夫様・佐々木京子様
中平 弘様・菅田トシ子様
石関宏子様・鳥屋部浩之様
及川 緑様・中野 隆様
高橋一則様・昆野静子様
☆協力金寄付
遠野ライオンズクラブ様

送迎用車輦を更新!!

遠野コロニーでは、これまで長らく使用してきた利用者送迎用車輦の劣化に伴い、今年 3 月 14 日に新しい車輦を更新いたしました。更新に際しましては、日本財団の福祉車両助成事業を活用させて頂きました。感謝を申し上げます。ますます共に、末永く大切に使用させていただきます。と思います。



編集後記

▼早いもので、石上の園が 7 月で創立 20 周年を迎えました。今年度は記念式典や記念大阪旅行と、忙しくも楽しい一年になりました。そんな中、春には遠野コロニーの利用者が一般企業へ就職するという嬉しい出来事も重なり、良い一年のスタートを切ることができました。今年度からは広報の発行月を 7 月と 2 月に変更し、利用者さんの様子や法人・施設の行事や取り組みの紹介等紙面の充実にも努めてまいりますので、ご愛顧いただきますようお願いいたします。

オリジナル製品発売!

《希望郷いわて国体・希望郷いわて大会》

『希望郷いわて国体・希望郷いわて大会』の開催にあたり、当法人でもオリジナル製品を作り販売しています。大会マスコットのわんこきょうだいをプリントしたかわいいファイルとハンカチ、記念にぜひお買い求めください。

◇大会会場での販売の他、遠野コロニー・石上の園・遠野物産館赤羽根蔵・産直結和にて常時販売しております。

